

平成 29 年度久慈市社会福祉協議会事業報告

■ 事業の概要

平成 29 年度は、基本方針に掲げた「地域での支えあい活動の推進」、「久慈地域成年後見センター事業」、「生活支援・介護予防体制整備事業」「生活困窮者自立相談支援事業」を重点事業に、久慈市をはじめ関係機関・団体と連携を図りながら地域住民の参加・協力を得て、子どもから高齢者まで幅広く事業を展開しました。特に、久慈地域成年後見センター事業では、新たな権利擁護の担い手として市民後見人を養成したほか、法人後見事業の実施など判断能力が不十分な方の権利擁護を推進したところであります。

そのほか、児童生徒を対象とした福祉教育の推進に努めたほか、指定管理者受託事業（4 年目「指定期間 5 年」）においては、「福祉の村」等の施設管理や自主事業の実施など、これまでの実績をふまえ、改善を図りながら事業を推進しました。

以下、主な事業内容は次のとおりです。

1 会の運営

(1) 理事会 4 回、評議員会 1 回、定例監査、出納調査 3 回、評議員選任・解任委員会 1 回を開催し、適正な法人運営に努めました。

① 理事会

回	期 日	内 容
第 1 回	6 月 6 日	<ul style="list-style-type: none">久慈地域成年後見センター運営要綱の制定について定款施行細則の一部改正について平成 28 年度事業報告の承認について平成 28 年度資金収支決算の承認について法人後見事業の実施について役員候補者の推薦について平成 29 年定時評議員会の開催について
第 2 回	6 月 26 日	<ul style="list-style-type: none">会長、副会長の選定について
第 3 回	11 月 20 日	<ul style="list-style-type: none">会長の職務執行状況、主要行事（4 月～9 月）及び予算執行状況の報告について事務局職員の育児・介護休業等に関する規程の一部改正及び法人後見事業実施要綱等の制定について平成 29 年度久慈市社会福祉大会における社協会長表彰について平成 29 年度社会福祉法人指導監査の実施結果について正規職員の募集について平成 29 年度資金収支補正予算（第 1 号）について定款施行細則及び経理規程の一部改正について評議員の補充選任にかかる候補者の推薦について第 1 回評議員選任・解任委員会の招集について
第 4 回	3 月 27 日	<ul style="list-style-type: none">事務局職員就業規則等の一部改正及びパートタイム職員の取扱いに関する規程の制定について平成 29 年度資金収支補正予算（第 2 号）について定款施行細則及び経理規程の一部改正について平成 30 年度事業計画について平成 30 年度資金収支予算について

② 評議員会

回	期 日	内 容
第 1 回 (定時)	6 月 23 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の決議について ・ 平成 28 年度事業報告の承認について ・ 平成 28 年度資金収支決算の承認について ・ 役員を選任について

③ 監査・出納調査

監査等	期 日	内 容
定例監査	5 月 19 日	・ 平成 28 年度事業及び資金収支決算事項
出納調査	8 月 2 日	・ 4 月～6 月までの資金収支執行状況
	11 月 7 日	・ 7 月～9 月までの資金収支執行状況
	2 月 7 日	・ 10 月～12 月までの資金収支執行状況

※ 平成 29 年度 1 月～3 月までの資金収支の執行状況は平成 30 年 5 月 16 日に定例監査を実施。

④ 評議員選任・解任委員会

回	期 日	内 容
第 1 回	12 月 6 日	・ 評議員の補充選任について

(2) 執行理事会を開催し、円滑な運営に努めました。(9 回)

(3) 行政連絡区長に福祉委員を委嘱し、社協会費の取りまとめや社協だよりの配布などに協力いただいたほか、連携を図りながら福祉活動を推進しました。

(4) 各世帯からの一般会費、福祉施設・団体からの特別会費、民生委員・社協役員からの賛助会費の納入協力を得て、福祉活動財源の確保に努めました。

会費種別	29 年度		前年度比較	
	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)
一般会費	10,371	10,370,800	10	23,500
特別会費	67	142,000	18	44,000
賛助会費	149	164,000	△17	△44,000

(5) 各種研修会に積極的に参加し、役職員の資質向上に努めました。

(6) 社会福祉法人制度改革に伴う経営組織のガバナンス強化、財務規律の強化、事業運営の透明性の向上に努めました。

2 施設の管理運営

(1) 総合福祉センター及びチャレンジランドの管理運営にあたっては、施設や設備の維持管理のほか各種事業の実施、広報等による利用情報の提供により利用促進に努めました。

また、福祉の村、屋内温水プール及び山形老人福祉センターの指定管理者として、施設及び設備の維持管理のほか自主事業を実施し、利用促進に努めたところがあります。

(2) 施設の利用状況

① 総合福祉センター利用状況

区 分	利用人数	前年度比較
講堂	10,041名	△652名
研修室	5,081名	△2,787名
多目的ルーム	5,682名	△236名
調理実習室	487名	290名
憩いの間	1,079名	105名
浴室	747名	△383名
ボランティアルーム	814名	30名
ティーラウンジ	3,444名	△846名
健康増進コーナー	251名	△121名
合 計	27,626名	△4,600名

② 福祉の村、温水プール利用状況

区 分	利用人数	前年度比較
温水プール	39,220名	1,275名
茶室	1,807名	179名
野外ステージ	702名	538名
野外(イベント・遊具等)	10,165名	△104名
合 計	51,894名	1,888名

③ チャレンジランド利用状況

区 分	利用人数	前年度比較
チャレンジランド	2,657名	141名
合 計	2,657名	141名

④ 山形老人福祉センター利用状況

区 分	利用人数	前年度比較
山形老人福祉センター	5,857名	1,824名
合 計	5,857名	1,824名

(3) 指定管理自主事業

① 福祉の村

期日等	事業名	内 容	参加者数	前年度比較
5月21日	高校生茶道講習会	・講話「お茶の歴史について」 ・実技「立ち居振る舞い」	49名	±0名
5月28日～ 3月4日(12回)	子ども生け花教室	・生け花の歴史 ・生け花創作	延べ 62名	△25名
6月4日～ 11月12日(12回)	子ども茶道教室	・礼儀作法、お茶・お菓子の 頂き方等	延べ 273名	44名

② 屋内温水プール

期日等	事業名	内容	参加者数	前年度比較
4月～3月 (延べ248回)	ショートプログラム	・対象者：一般（18歳以上） ・30分間の教室。楽々ウォーキング、初心者クロール、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライ	延べ 2,112名	1,362名
4月～3月 (延べ40回)	マスターズ	・対象者：一般（18歳以上） ・水泳の基本姿勢など	延べ 247名	△59名
4月～3月 (延べ73回)	らくらく水中健康教室	・対象者：一般（18歳以上） ・下肢を中心とした自重トレーニング	延べ 323名	218名
4月～3月 (延べ13回)	ファミリー	・対象者：3歳～6歳と保護者 ・水慣れ、水遊びなど	延べ 59名	34名
4月～3月	ファミリー割引 入場券	・対象者：小学生以下1名と 保護者（18才以上） ・通常800円を500円で入場	1,292名 (購入646名)	114名
4月～3月	1ヵ月シニア フリーパス券	・対象者：一般（60歳以上） ・金額4,000円 ・購入日を含む30営業日有効	1,349名 (購入109名)	182名
7月～8月	ポイントカード キャンペーン	・対象者：中学生以下 ・1回1ポイント、3ポイントで1回 無料（カード配布数580枚）	無料券 利用 83名	53名
9月23日	無料開放 (福祉まつり)	・対象者：市民	96名	42名
10月9日	無料開放 (体育の日)	・対象者：市民	99名	11名
12月16・17日	来場者100万人 達成記念無料開放	・対象者：市民 ・両日先着50名に記念タオル を贈呈	160名	—
1月3日	無料開放（初泳ぎ）	・対象者：市民	63名	4名
3月4日	チャンプカップ	・対象者：小中学生、一般 ・水泳記録会	58名	6名

③ 山形老人福祉センター

期日	事業名	内容	参加者数	前年度比較
7月13日	健康づくり教室	こころとからだの健康づくり ～みんなで楽しく笑おう～	30名	5名
7月27日	パークゴルフ講習会	パークゴルフ講習会（入門編）	31名	新規
10月4日～ 26日	趣味創作講座（8回）	ハギレで作る簡単お雛様作り	81名	△5名
11月13日	高齢者交通安全教室	交通事故に遭わないために心がけること 昼、夕方、夜に事故に遭わないために気を付けること わたりジョーズ君（歩行環境シュミレーター）による歩行体験	35名	新規
12月19日	ニュースポーツ交流会①	ユニカール・公式ワナゲ	18名	△7名
1月22日	ニュースポーツ交流会②	囲碁ボール、スカットボール	28名	3名
2月15日	男の料理教室	感謝を贈ろう逆バレンタイン 簡単チョコムース ココア風味マドレーヌ	13名	新規
3月23日	生きがいつくり教室	笑いヨガで健康づくり	20名	△17名

3 地域福祉事業の推進

(1) 久慈市からの補助を受け、福祉活動専門員 1 名を配置し、地域福祉事業を推進しました。

(2) 地域での支えあい活動の推進

平成 27 年度に策定した第 2 期久慈市地域福祉計画及び社協地域福祉活動計画に基づき、久慈市や町内会等自治組織と連携を図りながら、地域での支えあい活動を推進しました。

- ① 地域座談会の開催（市内 8 地区、参加者延べ 131 名）
- ② 支えあい活動情報紙の発行（全戸配布 1 回）
- ③ 地域福祉講演会の開催（久慈市社会福祉大会にあわせて開催）
 - ・講 演 「たくさん笑って健康に～日々を健やかに過ごす～」

講師 啓発落語人 夢見亭 わっぱ 氏

・参加者 288 名

④ ふれあいサロン実施への支援

サロンの立ち上げや実施内容について連絡調整を行ったほか、共同募金等による活動費助成の情報提供と申請手続きを支援しました。

ア 実施に係る費用の一部助成（1 月：上限 2 千円）

年度	サロン数	参加者数 (延べ)	内、ボランティア数 (延べ)	実施回数	実施月数
29 年度	94 ヶ所	14,881 名	2,552 名	1,287 回	972 月
前年度比較	5 ヶ所	1,131 名	198 名	111 回	72 月

イ 訪問相談対応（17 ヶ所「前年度比較 10 ヶ所」）

ウ 物品（輪投げ等）の貸出（32 件「前年度比較 12 件」）

エ ボランティア行事用保険の加入助成（28 件「前年度比較△1 件」）

オ 活動費助成の情報提供

（提供回数 2 回「前年度比較±0 件」、申請手続き支援（5 件「前年度比較 2 件」）

カ ふれあいサロンの集い・ボランティア集いの実施

情報提供及び情報交換の場として、久慈地区広域社協連絡協議会と共催で管内ボランティアを対象とした集いを実施しました。（参加者 84 名、内、久慈市 36 名）

キ 地区ふれあいサロンの集いの実施

地区での情報交換の場として、地区ふれあいサロンの集いを実施しました。

（実施地区：小久慈、宇部、侍浜、山根 参加者延べ 88 名）

⑤ 住民支えあいマップづくりの支援

住民支えあいマップづくりを希望する町内会へ出向き、マップづくりの支援を実施しました。（4 ヶ所、延べ 6 回）

⑥ 町内会等による除雪要支援世帯に対する除雪支援活動への助成

高齢や障がい等により自力で除雪をすることが困難な世帯に対して、町内会等の団体が行う除雪支援活動に助成しました。

登録団体：9 団体（内、4 団体に 30,000 円助成）

(3) 広報活動の実施

- ① 社協だより「しあわせ SUN」の発行（全戸配布 4 回）
- ② ホームページによる情報提供（随時更新）

③ 声の広報事業の実施

朗読ボランティアによる「声の広報」事業は、広報くじ、議会だより、社協だより等をデジタル録音し、視覚障がい者を対象に毎月2回無料でコンパクトディスクを貸し出しました。(24回発行、利用者延べ213名「実利用者9名」、朗読ボランティア延べ169名「実ボランティア数12名」)

(4) 心配ごと相談所の設置運営

毎週月曜日から金曜日まで、常設相談所を開設し各種相談活動を実施するとともに、相談内容に応じた福祉サービス情報を提供しました。

【分野別相談件数 ※()内は前年度比較件数】

生 計	年 金	職業・生業	住 宅	家 族	結 婚	離 婚
289(△96)	0(0)	1(0)	1(0)	4(0)	0(0)	3(3)
健康・衛生	医 療	精神保健	人権・法律	財 産	事 故	児童・ 母子保健
0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	6(3)	1(1)	1(0)
教育・ 青少年	心身障が い者福祉	母子・ 父子福祉	老人福祉	苦 情	その他	合 計
0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	307(△89)

※対応日数 244日

(5) 久慈市社会福祉大会の企画・運営

大会委員会を設置し企画・運営を行い、11月28日に大会を開催し多年にわたり社会福祉の発展に寄与された個人及び団体を表彰しました。(参加者：288名)

表 彰 種 別		人数等
久慈市長表彰	民生委員・児童委員	1名
	社会福祉事業功労者	10名
	広く社会に顕彰する者	1団体
久慈市社協会長表彰	社会福祉事業功労者	20名
	ボランティア活動功労者・団体	2名、1団体
	共同募金運動功労者	7名
	褒賞(在宅介護者)	5名

(6) 岩手県社会福祉大会への参加

11月1日、岩手県民会館において開催された、第70回岩手県社会福祉大会の席上で多年にわたり社会福祉の発展に功績のあった方々が表彰されました。

表 彰 種 別		人数等
岩手県知事表彰	社会福祉事業功労者	3名、1団体
岩手県社会福祉大会長表彰	社会福祉事業功労者	11名
	ボランティア活動功労団体	2団体
	共同募金運動功労者	6名
	永年勤続功労者	5名
	褒賞(在宅介護者)	2名

(7) 歳末たすけあい運動の実施（民生児童委員協議会と協働実施）

配分対象者調査を実施し、対象者1人あたり4,000円の義援金を贈りました。

区 分	人 数		金 額
	29年度	前年度比較	
要介護高齢者（65歳以上）	40名	1名	160,000円
一人暮らし高齢者（75歳以上）	455名	△7名	1,820,000円
1級・2級身体障がい児者	155名	△18名	620,000円
知的障がい児者	73名	2名	292,000円
1級・2級精神障がい者	78名	0名	312,000円
合 計	801名	△22名	3,204,000円

(8) 障がい者の社会参加及び自立支援への取り組みの推進

久慈地域障害者自立支援協議会運営会議の構成団体として参画し、関係機関と連携しながら久慈地域の障害者支援の充実に向けて取り組みました。（会議出席9回）

(9) 介護機器貸し出し事業の実施

在宅の要介護高齢者や障がい者等の日常生活を支援するため、介護用ベッド、車椅子等を設備し、無料で貸し出しました。【貸出件数 ※（ ）内は前年度比較件数】

① 本所

介護用ベッド		車椅子		その他（杖等）	貸出延べ件数合計
保有数	貸出延べ件数	保有数	貸出延べ件数		
46(1)	214件(△7件)	91(△6)	359件(△46件)	127件 (△13件)	700件(△66件)

② 山形事務所

介護用ベッド		車椅子		その他（杖等）	貸出延べ件数合計
保有数	貸出延べ件数	保有数	貸出延べ件数		
—	—	13(±0)	8件(1件)	—	8件(1件)

(10) 久慈市民生児童委員協議会活動の支援

活動費の一部助成のほか、民児協事務局として各種事業を推進するとともに、歳末たすけあい運動や地区定例会など社協と民児協が連携した事業の実施により、民児協活動を支援しました。

(11) 久慈市老人クラブ連合会活動の支援

活動費の一部助成のほか、市老連事務局として各種事業を推進するとともに、シニアスポーツ大会や白樺大学など社協と市老連が連携した事業の実施により、市老連活動を支援しました。

(12) 福祉団体等の活動支援

活動費の一部助成のほか、活動の助言指導や連絡調整等を行い、各団体の活動を支援しました。

4 地域活動支援センターチャレンジランドの運営

障がいのある人達の生活を支援する施設「チャレンジランド」において、週3回「地域活動支援センターチャレンジランド事業」を実施し、利用者の立場に立ったサービスの提供に努めました。（延べ142回開催、利用者延べ1,232名「実利用者8名」）

5 ふくしサロン「しあわせSUN」の運営

中心市街地の2つの空き店舗を活用して、高齢者や子ども、ボランティア、障がいのある方などが気軽に行き交うことができるサロンを開設し、世代間交流の促進等を図りながら事業を推進しました。

(1) 「しあわせSUN ご近所介護ステーション」

- ① 地域密着型通所介護（予防）事業の実施（利用者延べ1,143名）
- ② 「みんなのトイレ」の開放
- ③ ボランティア活動情報ボード（掲示板）の設置
- ④ ボランティアによる健康相談「こはくのまちの保健室」開設の支援（月1回）

(2) 「しあわせSUN つどいの広場」（久慈市委託事業）

- ① 子育て親子の交流・集いの場の提供（延べ308日開設）
- ② 子育てアドバイザーによる「スマイル子育て相談会」の開催（12回、参加者延べ26名）
- ③ 情報紙「SUNSUNひろばだより」の発行（32回発行）
- ④ 子育て支援講習「SUNSUNひろば」の開催（12回開催、参加者延べ86名）
- ⑤ 絵本の読み聞かせ会「よんで!よんで!!」の開催（10回開催、参加者延べ50名）
- ⑥ 親向け講習会「パパ・ママゆとりタイム」の開催（2回開催、参加者12組）
- ⑦ おもちゃリサイクル販売「おもちゃマーケット」の開催（3回、来場者延べ334名）
- ⑧ どんぐり工房による喫茶コーナーの設置・運営（43回開設、利用者延べ569名）

【利用状況】

（人数は一部再掲）

ご近所介護ステーション			つどいの広場		
区分	29年度	前年度比較	区分	29年度	前年度比較
デイサービス利用者	1,143名	△351名	親子等利用者	4,543名	△1,162名
一般入場者等	1,059名	△364名	一般入場者等	3,241名	736名
合計	2,202名	△715名	合計	7,784名	△426名

6 ふれあいのまちづくり事業の推進

(1) 地域福祉活動コーディネーターを設置し、関係機関と連携を図りながらボランティア活動や地域福祉活動を推進しました。

(2) ボランティア活動センターの設置運営

ボランティア活動センターを設置し、ボランティア団体やボランティア連絡協議会と連携した事業の推進により、ボランティアの育成支援を図りました。

- ① ボランティア活動センター運営委員会の開催（3回）
- ② 災害ボランティアセンター振返り会議の開催（1回）
- ③ ボランティア登録の状況

年度等	登録団体数	登録者数
29年度	36団体	1,938名
前年度比較	△1団体	△74名

- ④ ボランティア活動の連絡調整
（延べ239件「前年度比較49件」、1,021名「前年度比較184名」）
- ⑤ ボランティア活動資材の貸出
（本所：延べ80件「前年度比較13件」、山形事務所：延べ25件「前年度比較△16件」）
- ⑥ 活動費助成の情報提供
（提供回数2回「前年度比較0件」、申請手続きの支援5件「前年度比較2件」）
- ⑦ ボランティア団体実態調査の実施（36団体）

- ⑧ ボランティア保険の加入促進及び保険料の助成
ボランティア活動センター登録者（希望者）にボランティア活動保険掛金の一部を助成（1人150円）し、保険の加入促進に努めました。（383名に助成）

- ⑨ 地域ボランティア活動助成事業の実施
福祉基金の利息を活用して、地域住民の生活を支援するボランティア活動や子ども達が参加するボランティア活動に助成し活動を支援しました。
（助成団体3団体、助成総額237,000円）

- ⑩ 手話入門教室の開催
ボランティア養成のため、手話サークル輪っこの会と共催で開催しました。

期 日	講 師	内 容
10月5日～ 11月2日 (5回)	手話サークル輪っこの会 櫻庭千里氏、高屋敷真喜子氏	・参加者延べ13名（前年度比較△8名） ・手話の表現方法、挨拶、交流会、聴覚障がいについて等

- ⑪ あんしんお手伝い教室の開催
基礎的な介護の知識や技術の学習を通し、あんしんサポート協力会員の育成と地域で暮らす高齢者等への理解を深める教室を開催しました。

期 日	内 容	参加者数
1月19日	・講義「初期認知症の方への対応・接し方について」 講師 こはくのまちの保健室 代表 大橋 泰子 氏 ・実技 車いすの介助方法、杖を使った歩行・介助方法 講師 久慈地域リハビリテーション広域支援センター 主任理学療法士 泉 健太郎 氏 ・あんしんサポート事業協力会員交流会（情報交換会）	17名 （前年度比較△4）

- ⑫ 友愛はがき事業の実施
一人暮らし高齢者（53名）を対象に、月1回ボランティアのハガキによる友愛活動を実施しました。（ボランティア延べ612名）

- (3) ボランティア連絡協議会活動の支援
活動費の一部助成のほか、社協とボランティア連絡協議会が連携した事業の実施により、活動を支援しました。

- (4) あんしんサポート事業の実施
日常の家事に困っている方や介助が必要な方に対して、有償ボランティアによる家事援助サービスを提供しました。

年度等	利用会員数	協力会員数	利用件数 (延べ)	活動時間 (延べ)	主なサービスの 内容
29年度	156名	48名	734件	1,120時間	掃除、買い物、通 院介助、草取り等
前年度比較	△36名	△11名	16件	64時間	

- (5) 福祉施設ふれあいサロン実施の支援
福祉施設の持つ機能を活用して実施する福祉施設でのふれあいサロンに、ボランティアを派遣するなど実施を支援しました。

地 区	場 所	回数	派遣ボランティア数
上長内	松柏園・みずき園	12回	12名
門 前	門前保育園	4回	4名
川 貫	川貫保育園	2回	2名
小 袖	小袖保育園	3回	3名

(6) ふれあい福祉まつりの開催

期 日	内 容	参加者数
9月23日	・ふれあい広場、福祉バザー、模擬店、ステージ発表、福祉施設コーナー、福祉茶会など ・益金 289,943 円（共同募金、東日本大震災久慈市地震災害義援金、平成 28 年久慈市台風災害義援金へ寄付）	2,084 名 (前々年度比較 △50 名)

※28 年度は、台風被害を考慮し中止

7 福祉教育の推進

保育園、小中高等学校、地域やボランティア団体等と連携して、子ども達が主体となるボランティア活動や交流・体験活動の場を提供し、次代を担う子ども達の「福祉のこころ」を育む事業を推進しました。

(1) 鯉のぼりフェスティバルの開催

児童の健全な育成を願い、4月27日に市内15保育園329名の協力を得て、市民から寄付された鯉のぼり約100匹を福祉の村に掲揚しました。(掲揚期間中4/27～5/23の来場者1,015名)

(2) 寺子屋合宿の開催

ボランティア体験や異世代交流を通して、思いやりの心を育むことを目的に1泊2日の体験合宿を開催しました。

期 日	場 所	内 容
7月29日～ 30日	慈光寺	・参加者：小学生60名（前年度比較△6名） 高校生等ボランティア36名（前年度比較△4名） ・内 容：昔遊び、うちわ作り（地域の高齢者、九州豪雨災害被災者へ向けて）等

(3) 福祉作文コンクールの実施

児童・生徒の福祉意識の高揚を図る福祉作文コンクールを実施し、優秀作4編、準優秀作5編、佳作9編の入選者を久慈市社会福祉大会において表彰しました。

区 分	応募数	区 分	応募数
小学校低学年の部	7 編	中学校の部	14 編
小学校高学年の部	14 編	高等学校の部	5 編
合 計			40 編

(4) 福祉教育出前講座の実施

小中学生等を対象に、障がい者や高齢者に対する知識と理解を深め、思いやりの心を育む福祉教育出前講座を実施しました。

内 容	実施校数	講 師
キャップハンディ体験（車いす）	小学校10、中学校2	社協職員・障がい者観光サポーターの会
キャップハンディ体験（アイマスク・白杖）	小学校9、中学校2 中央市民センター(高校生)1	社協職員・障がい者観光サポーターの会
高齢者疑似体験	小学校6、 中央市民センター(高校生)1	社協職員・障がい者観光サポーターの会
ユニバーサルデザイン学習	小学校1、中学校1	社協職員・障がい者観光サポーターの会
点字体験	小学校1	点字サークル会員
手話体験	小学校4	振興局ろうあ者相談員

8 貸付事業の推進

岩手県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金事業の委託を受け、所得の不安定な世帯、障がい者世帯の自立支援のため貸付相談や事務手続きを行ったほか、緊急に資金が必要になった世帯に対し、5万円を限度にたすけあい資金の貸付を行いました。

(生計に関する相談対応件数:延べ289件「前年度比較△96件」)

(1) 生活福祉資金相談員の設置

岩手県社会福祉協議会から補助を受け、専任の生活福祉資金相談員を1名設置し、迅速な貸付業務に努めました。

(2) 生活福祉資金の貸付状況

資金種別	貸付件数(件)			29年度新規貸付金額(円)
	累計	29年度新規件数	前年度比較	
総合支援資金 (旧 離職者支援資金を含む)	31	0	±0	0
福祉資金 福祉費 (旧 更生資金、障害者更生資金、生活復興支援資金を含む)	59	2	△4	581,000
福祉資金 緊急小口資金 (緊急小口資金〔特例〕を含む)	39	5	±0	270,000
教育支援資金	196	3	△18	4,024,000
不動産担保型生活資金〔一般〕	0	0	±0	0
不動産担保型生活資金〔要保護〕	8	0	△3	0
合計	333	10	△25	4,875,000

(3) たすけあい資金の貸付状況

貸付件数(件)			29年度新規貸付金額	29年度償還完了件数
累計	29年度新規件数	前年度件数比較	80,000円	1件
24	2	1		

9 生活困窮者自立相談支援事業(久慈市及び久慈管内町村)の実施

(1) 生活あんしん相談室の設置運営

主任相談支援員1名、久慈市相談支援員1名、久慈市家計相談支援員1名、町村相談支援員1名、就労支援員1名を配置し、生活困窮者の相談に応じ必要な情報提供や助言を行うとともに、支援計画を作成し関係機関と連携を図りながら、生活困窮者の自立促進に向けた支援を実施しました。

区分		29年度	前年度比較
新規相談件数	久慈市	104件	2件
	管内町村	73件	49件
相談延べ件数	久慈市	1,007件	△699件
	管内町村	1,352件	50件

(2) 支援調整会議の開催

生活困窮者に適切な支援が提供されるよう、本人と一緒に自立に向けた支援計画を作成し、自立の促進が図れるよう、支援調整会議を実施しました。

区分		29年度	前年度比較
支援調整会議	久慈市	10回	0件
	管内町村	15回	0件

10 久慈地域成年後見センター事業の実施

管内4市町村から久慈地域成年後見センター事業の委託を受け相談員2名を配置し、成年後見制度の普及啓発や相談支援を実施したほか、法人後見を受任するなど権利擁護の推進に努めました。

(1) 久慈地域成年後見センターの設置運営

- ① 運営委員会の開催（2回）
- ② ネットワーク会議の開催（6回 参加者延べ115名）
- ③ 市民後見人養成講座の開催（全7回 受講者28名）
- ④ 市民セミナーの開催

期 日	場 所	内 容
11月21日	総合福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者：124名 ・講 演：「終活、今からはじめる人生設計」 ～自分らしく生きるために～ 講 師：NPO法人 人生まるごと支援 理事長 三国 浩晃 氏

⑤ 相談支援の実施

区 分		29年度	前年度比較
相談件数	管内全体	120件	97件
	久慈市（再掲）	87件	71件

※ 前年度のセンター設置期間は12月21日～3月31日まで

(2) 法人後見の実施

- ① 受任状況 後見類型 1名
- ② 法人後見審査委員会の開催（1回）

11 日常生活自立支援事業（あんしんねっと）の実施

管内4市町村社協の基幹社協として専門員2名と管内市町村に生活支援員14名を配置し、判断能力に不安のある高齢者や障がいのある方々に対して、日常生活の金銭管理や福祉サービス利用の相談援助などを実施しました。

件 数		29年度	前年度比較
利用契約件数	管内全体	104件	0件
	久慈市（再掲）	68件	△6件
相談件数	管内全体	2,988件	△6件
	久慈市（再掲）	2,225件	△55件

12 生活支援・介護予防体制整備事業の実施

生活支援コーディネーターを1名配置し、地域包括支援センター等関係機関と連携を図りながら、日常生活において支援が必要な高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って生活できる支援体制の構築に向けた取組として、地域のニーズと資源の状況を把握するため、町内会等への訪問活動を実施しました。（延べ37回）

13 受託事業の実施

(1) 久慈市からの受託事業

① 高齢化対策指導員設置事業

高齢化対策指導員を設置し、老人クラブの育成をはじめ、高齢者に対する福祉活動の充実に努めました。

② 敬老会事業

敬老会実施主体との連絡調整、補助金交付、案内状作成等により地区敬老会の実施を支援しました。(市内 55 ヶ所、敬老会対象者数 6,144 名)

③ いきいきシニアスポーツ大会

ア 久慈市いきいきシニアスポーツ大会の開催

実行委員会を組織し、関係機関と連携を図りながら大会を運営しました。

期 日	場 所	結 果
7 月 7 日	サンスポーツランド	・参加選手 446 名 ・優 勝：夏井チーム、準優勝：宇部チーム、 第 3 位：大川目チーム、山形チーム

イ 岩手県いきいきシニアスポーツ大会への参加

選手選考会を開催し選手団を編成するとともに、管内町村老人クラブ連合会等と連携を図りながら大会に参加しました。

期 日	場 所	内 容
9 月 2 日	岩手県営運動公園 陸上競技場	・参加選手 42 名 ・順位：総合第 7 位

④ 高齢者生きがいつくり事業

高齢者の生きがいと教養の増進を図るため、次の事業を実施しました。

ア 産業まつり「老人クラブコーナー」への出品

期 日	場 所	内 容
10 月 14 日 ～15 日	アンバーホール会議室	・市内高齢者から 973 点の出品

イ 趣味の作品展示即売会の開催

期 日	場 所	内 容
2 月 3 日～ 4 日	市総合福祉センター	・広域管内の高齢者 73 名 (内、久慈市 58 名) から 2,110 点出品 (内、久慈市 1,756 点) ・入場者数：約 500 名

ウ 白樺大学の開催

市内全域の高齢者を対象に全体学習や地区学級を実施しました。

期 日	開設地区・場所	内 容	参加者数
8 月 4 日	開講式・全体学習 山形老人福祉センター	開講式典 講演：「笑いの効用～笑って元気～」 講師：日本笑い学会 高橋綱紀 氏	108 名
9 月 11 日	課外学習	現場見学 久慈港湾口防波堤見学	49 名
9 月 27 日	河南地区学級 久慈市民体育館	実技：「体力測定」 講師：久慈市社会福祉協議会職員	35 名

10月19日	山根地区学級 山根町桂の水車広場	実技:「郷土料理講習会」 講師:山根桂水会	45名
11月21日	大川目地区学級 大川目市民センター	講演:「身近にあふれる英語教室」 講師:英語教師 林下知佳氏	38名
12月18日	宇部地区学級 宇部市民センター	実技:「しめなわ講習会」 講師:澤里 聡氏	51名
1月11日	長内地区学級 長内市民センター	実技:「書初め書道教室」 講師:久慈市書道協会 会長 宇部徳雄氏	24名
2月9日	久慈湊地区学級 湊分館	実技:「卓球バレー講習会」 講師:卓球バレー協会会員	37名
3月20日	閉講式・全体学習 久慈市総合福祉センター	閉講式典、皆勤賞・精勤賞の表彰 実技:「楽しみながら心と体を元気に」 講師:奥州市レクリエーション協会 会長 千葉正幸氏	83名
合計	全体学習 2回 地区学級 6回 課外学習 1回 計 9回	—	470名 (前年度比較 △44名)

⑤ 地域包括支援センターブランチ事業

在宅介護等に関する各種相談及び指導や助言を行い、久慈市地域包括支援センターとの連携を図りながら介護予防に関する普及啓発や各種サービスの利用啓発を行いました。

件数	29年度	前年度比較
各種相談件数	72件	△4件
申請代行件数	46件	25件

(2) 岩手県社協からの受託事業

① 生活支援相談員設置事業

東日本大震災による被災世帯の訪問活動等を行う生活支援相談員を設置し、久慈市や野田村社会福祉協議会等と連携して、被災者の支援に努めました。また、久慈市と連携して台風第10号による被災世帯の訪問活動も実施しました。

ア 被災世帯訪問

被災世帯を訪問し、世帯状況の把握、心配ごとの傾聴、情報提供等を行い、被災者の心のケアに努めました。

訪問回数	訪問世帯数	訪問対象世帯
延べ91回	延べ259世帯	東日本大震災 : 75世帯 台風10号災害 : 6世帯

イ 被災地区サロンの開催

市保健師、保健推進員をはじめとする地域の皆さんや傾聴ボランティアと連携して、心のケアに重点を置いたサロンを被災地区で開催したほか、ふれあいサロンへの移行を支援しました。

地区名等	延べ開催回数	延べ参加者数
湊町上	11回	103名
二子	6回	36名
玉の脇	12回	89名
夏井駅前・大湊	3回	12名
半崎	9回	74名
久喜	6回	74名
合 計	47回	388名

(3) 岩手県からの受託事業

① 精神障害者社会適応訓練業務

協力事業所として仕事（清掃等の軽作業）の場を提供するとともに、保健所と連携して在宅精神障害者の社会参加の促進に努めました。（2名を延べ142日受け入れ）

14 居宅介護支援事業の実施

- (1) 指定居宅介護支援事業所として、適切な介護サービスが提供されるよう、要介護認定を受けた利用者・家族の相談を通して、ケアプラン作成等ケアマネジメントの実施に努めました。

件 数	29年度	前年度比較
ケアプラン作成延べ件数	3,593件	△140件
月平均	300件	△11件

- (2) 要介護認定調査事業を受託し、介護支援専門員による訪問調査を実施し、介護保険制度の円滑な運営に努めました。

件 数	29年度	前年度比較
要介護認定調査延べ件数	81件	△70件
月平均	7件	△6件

- (3) 久慈市地域包括支援センターから介護予防支援業務を受託し、要支援の認定を受けた利用者の介護予防プランを作成しました。

件 数	29年度	前年度比較
介護予防プラン作成延べ件数	256件	37件
月平均	21件	3件

15 福祉サービスの苦情解決事業及び第三者委員の設置

社会福祉法に対応した苦情解決の体制整備のため、有識者4名を第三者委員に委嘱するとともに、苦情解決責任者、受付担当者を配置し利用者からの苦情受付窓口を開設しました。

苦情申し立て件数	0件
----------	----

16 福祉基金利息の活用

- (1) 市民や団体等からの寄附を基金に積み立てました。
福祉基金総額 253,135,490 円
- (2) 福祉基金利息を活用し、地域のボランティア活動へ助成しました。
(助成団体 3 団体、助成総額 237,000 円)

17 共同募金運動の促進

共同募金会やボランティア団体等と連携した事業を実施し、共同募金運動の促進に努めました。

- (1) 赤い羽根チャリティパークゴルフ大会の開催 (益金:53,290 円)
- (2) 歳末たすけあい芸能大会の開催 (益金:273,615 円)
- (3) 歳末たすけあいチャリティ演芸会の開催 (益金:137,640 円)

18 その他の事業

- (1) 久慈地区広域社協連絡協議会の事務局として、久慈管内社協の連絡調整と事業の推進に努めました。

期 日	事業名	場 所	内 容	参加者
8 月 4 日	職員研修会	グリーンヒル おおの	講演:「心を伝える接客」 講師:offre M's コミュニケーションアドバイザー 田原美晴氏	27名
12 月 4 日	広域民生児童委員研修会	アンバーホール	基調講演:「地域包括ケアシステムの構築における現状と課題について」 講師:岩手県立大学社会福祉学部 准教授 佐藤哲郎氏	105名
1 月 24 日	管内市町村長への要望書提出	管内市町村	管内市町村長に要望書を提出し、社協の基盤強化、福祉活動支援等について要望した。	8名
2 月 6 日	ふれあいサロンの集い・ボランティアの集い	久慈市総合福祉センター	講演:「子どもから高齢者まで生きがいと助け合いのある地域づくり」 講師:さわやか福祉財団 新地域支援事業担当リーダー 森孝則氏 ワークショップ:助け合い体験ゲーム	84名
2 月 20 日	家庭介護者の集い	新山根温泉「べっぴんの湯」	講話:「介護体験と介護者の健康について」 講師:こはくのまちの保健室 代表 大橋泰子氏 入浴、お楽しみ抽選会	30名

- (2) チャレンジド結っこ・やませの里連絡協議会への協力

久慈地域の障がい者団体・施設、市町村、社会福祉協議会で構成する協議会の事務局として交流会や講演会の開催に協力し、ノーマライゼーションの理念の普及と心のバリアフリー化の促進に努めました。

資金収支計算書

(自)平成 29 年 4 月 1 日(至)平成 30 年 3 月 31 日

■社会福祉法人 久慈市社会福祉協議会

■区分:法人全体

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
	大			
事業活動による収支	収入			
	会費収入	10,687,000	10,676,800	10,200
	寄附金収入	603,000	496,499	106,501
	経常経費補助金収入	49,670,000	49,668,407	1,593
	受託金収入	106,556,000	105,939,055	616,945
	貸付事業収入	140,000	94,000	46,000
	事業収入	10,476,000	10,439,224	36,776
	介護保険事業収入	65,989,000	66,663,043	△674,043
	受取利息配当金収入	264,000	205,492	58,508
	その他の収入	255,000	254,086	914
	事業活動収入計(1)	244,640,000	244,436,606	203,394
	支出			
	人件費支出	162,839,810	162,659,936	179,874
	事業費支出	56,218,766	54,748,648	1,470,118
	事務費支出	14,203,434	13,964,685	238,749
	貸付事業支出	230,000	80,000	150,000
	共同募金配分金事業費	3,204,000	3,204,000	0
	助成金支出	10,734,056	10,401,960	332,096
負担金支出	122,000	121,720	280	
事業活動支出計(2)	247,552,066	245,180,949	2,371,117	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△2,912,066	△744,343	△2,167,723	
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支出			
施設整備等支出計(5)	0	0	0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	30,687,000	30,686,838	162
	その他の活動収入計(7)	30,687,000	30,686,838	162
	支出			
	基金積立資産支出	100,000	67,000	33,000
	積立資産支出	40,342,000	27,165,680	13,176,320
その他の活動による支出	3,811,000	3,758,160	52,840	
その他の活動支出計(8)	44,253,000	30,990,840	13,262,160	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△13,566,000	△304,002	△13,261,998	
予備費支出(10)	1,580,000	0	1,580,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△18,058,066	△1,048,345	△17,009,721	
前期末支払資金残高(12)	22,742,000	22,740,932	1,068	
当期末支払資金残高(11)+(12)	4,683,934	21,692,587	△17,008,653	